

ピア・サポートの現在から共に未来を考える

石井 義人(新潟大学 教育基盤機構 未来教育推進コア 特任助教)

関口 貴仁(早稲田大学 Office of the Global Citizenship Center (GCC オフィス))

三浦 翔(株式会社早稲田大学アカデミックソリューション 学術リテラシー事業部 WPO 運営チーム)

熊谷 美衣菜(新潟大学 教育基盤機構 未来教育推進コア 技術補佐員(人文学部 3 年生))

小林 怜奈(新潟大学 教育基盤機構 未来教育推進コア 技術補佐員(創生学部 3 年生))

講師略歴

【石井義人】文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」の NICE プログラムにおけるアカデミック・アドバイザーとして勤務しており、約 40 名の SA(スチューデント・アシスタント)をマネジメントしながら、学生の文理・分野横断学修の学生・学修支援を担当している。その実践経験を踏まえた研究実績として、SPOD フォーラム 2025 優秀ポスター賞を受賞した「分野横断学修者をピアサポートする SA 研修のデザイン」がある。

【関口貴仁】早稲田大学学生部等を経て教務部職員/東京大学大学院教育学研究科(修士課程)在学中。大学職員として7年間国際学生寮における準正課型リーダーシップ教育・PBL 教育・学生参画活動の設計・運営に携わる。その実践経験から、大学(特に職員組織)による学生の学びと成長支援の在り方に研究関心を持ち、2025 年度大学教育学会報告など大学院生としても活動する。

【三浦翔】株式会社早稲田大学アカデミックソリューションにて 10 年以上にわたり社会人教育の運営・業務改善、スタッフ育成、企画、研修開発、講師を担当。現在は早稲田ポータルオフィス総合案内業務の管理職として約 40 名の学生スタッフのマネジメントを行う。筑波大学履修証明プログラム「大学マネジメント人材養成」、早稲田大学履修証明プログラム「21 世紀のリーダーシップ開発」修了。

【熊谷美衣菜】新潟大学人文学部3年生。NICE プログラムにおける技術補佐員として、約 40 名の SA を統括する。

【小林怜奈】新潟大学創生学部3年生。NICE プログラムにおける技術補佐員として、約 40 名の SA を統括する。

プログラム概要

本企画は、新潟大学・早稲田大学の教職員・学生・企業人協働で実施する日本の大学におけるピア・サポートの現在から未来について考えるワークショップである。

ピア・サポートの現在について考えるパートでは、新潟大学と早稲田大学の事例紹介を行う。

新潟大学は文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」採択をきっかけに導入した NICE プログラム SA(スチューデント・アシスタント)実践事例についての報告と、現在、教員と学生が協働で実施している全国の大学ピア・サポート調査結果の報告を行う。

早稲田大学は、スチューデントジョブの仕組みが構築されており、様々な部門で学生スタッフが活躍している。本企画では、早稲田ポータルオフィスの学生スタッフを中心に、大規模大学におけるピア・サポート実践事例を報告する。

ピア・サポートの未来について考えるパートでは、本企画参加者の各大学におけるピア・サポート実践事例をワークショップ形式で共有し、日本の大学におけるピア・サポートのあるべき未来の姿を一緒に考える。

準備物・事前課題

所属大学における、学生支援やピア・サポート、スチューデント・ジョブに関する取り組みや情報、資料を調べてくる。

主な受講対象者

1. 学生支援やピア・サポートに関わる教職員・学生
2. スチューデント・ジョブの育成に興味のある教職員・学生

到達目標

1. 大学間比較を通じた、自校のピア・サポート体制の特徴や課題を客観的に理解し、説明することができる
2. 「教職員・学生・企業人」の多角的な視点を通じて実践知を獲得し、自校の活動に活用することができる
3. 日本の大学における「ピア・サポートの未来像」を構想し、自校におけるアクションプランを策定することができる
4. (学生参加者向け)協働を通じたエージェンシー(主体性)を高めることができる